

# 藍住町 議会だより

第33号

平成15年5月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp/gikai/index.htm>



ふれあいグリーンキャンペーン苗木寄贈式

## CONTENTS

定例会	p 2	常任委員会・特別委員会報告	p14
一般質問	p 4	陳情・町民の声	p15
常任委員会審査結果	p12	議会のうごき	p16



# 3月定例会

3月定例会が3月7日から25日までの19日間の会期で開会された。

平成15年度一般会計予算及び条例改正など39議案を原案のとおり可決した。

また、議員提案の請願書1件については採択された。石川町長は平成15年度の所信表明を行った。

## 所信表明

### 主な施策方針

#### 行財政改革の取り組み

厳しい財政状況を打開し、本格的に改革に取り組む為には、町長自らが範を示すべきであるとの認識に立ち、特別職の給与カットを決断した。平成15年4月から、町長の法定任期である平成17年11月まで、2年8ヶ月にわたり、町長7%、助役、収入役、教育長については5%の給与カットを行う。

#### 環境問題

中央クリーンステーション浄化槽汚泥対策改造工事については、5月に予備貯留槽の工事を予定。設備機器の工事については、施設を9月中旬から2ヶ月間運転停止をする必要があり、その間の処理は北島町にお願いする予定。住民に収集等支障をきたさぬよう工事を進めていく。ゴミ問題については、ゴミ量が毎年増加の傾向であり、今後は、早急に容器包装リサイクル

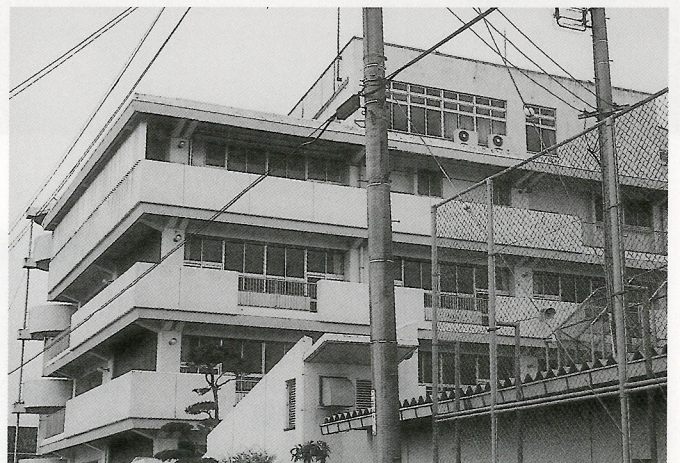
法に適合するゴミの分別収集を行うなどして減量に努める一方、指定袋の有料化も視野に入れた施策を検討したい。

#### 教育行政

北小学校の校舎棟及び体育館・管理棟の耐震補強及び改修工事については、平成15年度に体育館・管理棟を、平成16年度に校舎棟を実施することとした。

#### 福祉行政

介護保険については、制度が始まってから3年が経過し、大幅な保険料改正を余儀なくされた。介護保険制度の適正・健全な管理運営に努めていく。  
ねんりんピックについては、心のこもったもてなしにより、大会期間中の運営が円滑に行われ、感動をもたらすような運営体制の整備を行っていく。



藍住北小学校



## 平成15年第2回臨時議会

2月28日の第2回臨時議会において、議長の改選があり、藤田吉雄氏が就任しました。



議長  
藤田 吉雄

## 議長就任のご挨拶

議会議長 藤田 吉雄

このたび第29代藍住町議会議長に就任させていただくことになりました。

今、国又は地方においてもデフレ不況の真っ只中であり地方分権、行財政改革あるいは町村合併などが推進されており、本町でも優良企業と思われる企業や工場閉鎖などによりリストラを余儀なくされた働さざかりの方の問題、又介護保険料の値上げなど問題が山積しております。

こうした状況の中にあつて、もとより微力ではありませんが、住民の付託に応えるべく、議員・理事者と共に誠心誠意努力することをお誓いいたしまして、就任のご挨拶といたします。

## 平成15年度一般会計予算

# 87億 5,900万円

平成14年度一般会計補正予算 6,400万円 減額

### 平成15年度予算(会計別)の状況

(単位：千円)

会計名	予算額	前年比
一般会計	8,759,000	6.9%
特別会計	国民健康保険事業	1,940,737 5.3%
	老人保健事業	1,955,375 △ 11.7%
	介護保険事業	1,302,940 15.9%
	藍寿苑 介護サービス事業	334,338 2.9%
	下水道事業	682,859 143.1%
	住宅新築資金等 貸付事業	10,343 4.4%
	水道 収益的収支	385,662 △ 1.0%
	水道 資本的収支	217,282 △ 3.5%

### 平成15年3月補正予算(会計別)の状況

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	△64,000	9,246,000
特別会計	国民健康保険事業	△37,034 1,907,784
	老人保健事業	47,152 2,279,959
	介護保険事業	21,736 1,305,465
	藍寿苑	△6,865 315,926
	下水道事業	133,233 509,557

## 主な予算

### 人件費

報酬改定及び職員給与と改定により、総額約6,100万円減額。

### 教育費

北小学校管理棟の大規模改修費として、1億1,450万円、藍住中学校南校舎の大規模改修等設計委託料として、1,400万円の見込み。

### 民生費

「ねんりんピック」の実行委員会補助金として、約3,120万円、身体障害者等福祉費で約1億1,500万円増額。

### 消防費

東部消防本部庁舎建替工事に係る負担金として、約1億7,100万円増額。



## ねりんピック

本町では平成15年10月18日～21日に河川敷運動公園を主会場に、ゲートボール交流大会が開催される。大会の基本コンセプト「もてなし」だが、大会期間中延べ4,000人にも及ぶ参加者と聞いているが、全国健康福祉祭の目的に添うような「創意と工夫による心温まる大会」を念頭に開催準備の取り組みは出来ているのか。駐車場の確保、周辺整備仮設設備、ボランティア、協力員に対するの服装支給の対応、ボランティアの方々はおそらく無償奉仕と思われるが、町職員の協力姿勢、対策は。

## ふれあいと交流の場

駐車場については、名田橋下の県管理地や現在アスファルト舗装の駐車場として利用している場所を駐車スペースとして確保出来る予定。効率的な駐車が可能になるよう検討していく。

設備については仮設物を設置して対応し、服装面については選手と区別がつくよう配慮したい。

職員の休日勤務状態については、ボランティアの方々にお世話になることであるので、職員も町民の意志を尊重した賢明な判断をしてくれるものと信じている。

## ファミリー・サポート・センター

藍住・北島・松茂の3町が全国で初めて昨年7月に設置された、板野東部ファミリー・サポート・センター。会員数も増え、会員活動件数も順調に伸びているとの事だが、以前要望の駐車場、玄関、案内看板、トイレ設置等早く対処頂きたい。

## 案内板設置・専用入口を整備

平成15年度には案内板の設置、専用入口を整備する計画で予算計上している。トイレの設置については、浄化槽の容量や污水配管の関係上、現有施設の有効利用により対応していく。

## 農地銀行

昨年6月26日、大切な農地を耕作放棄地の解消として、農地の有効利用と、環境保全のために設立された農地銀行、その後の進捗状況は。

## 約4割が成立

9月と12月に全農家を対象に広報をし、実行組長に個別に回って頂いた結果、農地を貸したいという農家が15戸、筆数で26筆、面積で28,563㎡の希望があり、それを借りたいという農家が8戸、筆数で11筆、面積で11,195㎡の貸し借りが成立した。面積を率にすると39%となる。

## 全町的排水計画

町内いたる所で進んでいる宅地開発が進むにつれ、以前の排水断面では排水機能せず、大雨、台風等の場合には周囲の住民に大変迷惑を掛けている現状である。開発されて取り組むのではなく、今

こそ抜本的な「全町的排水計画策定委員会」の設置を。

## 検討していく

地盤沈下対策事業及び下水道事業の整備普及状況を踏まえて、目下検討を加えている。



昨年開催された第16回全国健康福祉祭徳島大会  
ゲートボール交流リハーサル大会





森 たけし 議員

### 財政

財政状況試算シートの内容は起債を圧縮し公債費を増額する。普通建設事業費は、平成13年度31億5,000万円であったのが、平成15年度から8億7,000万円に、3分の1への削減計画である。町債等返済計画は土地開発公社分23億5,000万円、教育施設整備公社1億9,000万円を平成18年度には全て返済する計画であるが、この計画は問題なく達成できるのか。

町債償還計画であるが、今、銀行に1,000万円預けても利息は年間百円玉1個である。本町の町債は年利5%を超えているのが12億7,800万円、5%から3%が25

億8,000万円、高利率で借り入れしている。現在の起債の平均は1.5%と考えるが、高利の町債の繰り上げ償還と低利への借り換えを求める。

### 予算減額を図る

土地開発公社については、平成18年度では9億3,000万円の残高に、教育施設整備公社については、現計画では平成18年度において残高が0になる予定である。

現在の財政状況においては、繰り上げ償還を行う財源確保は困難な状態である。ただ借り換えについては、今後金融機関とも十分相談し、出来ることなら行っていくきたい。

### 同和行政の終結を

1997年「地域改善財特法」が失効し、残務処理として経過措置も昨年終了。総務省も一般対策に移行する方針を示している。地区の実態は大きく改善された。同和行政・教育を終結させ、1日も早く一般対策へ移行するべきである。居住環境や生活実態は改善され、同和対策を継続実施しなければならぬ根拠はなくなつた。個人給付的事業も廃止をし、一般施策を充実し対応すべきである。

奨学金制度は勉学に意欲を持ちながら経済的理由により修学が困難な者に対する制度であるので差別のない制度とすべきである。現状は地区外は貸与で地区内は給付制度である。逆差別が生じないよう改善すべきである。町営住宅家賃補助520万円についても、生活の苦しい者に補助をする一般施策の底上げで対応する改善を求める。昨年3月に特別対策が終了し、法的根拠のない

### 残された課題に配慮

今後の方針としては、特別対策から一般対策への移行という基本姿勢に立ち、残された課題に配慮する中で、個人給付等の徳島県同和対策事業は、平成13年度は36事業あつたが平成16年度は1事業が残り、平成17年度には経過措置が終了する。

住宅家賃補助については、調整が終了次第見直しの検討をしたい。奨学資金の給付については、進学、就労の問題等格差がなお存在し、こうした現状の中、経過措置を講じている。

### 介護保険



藍寿苑での介護現場

4月からの保険料の値上げは特に高齢者の生活に深刻な打撃を与え、自治体の役割も重要。自治体独自の減免制度も431自治体に広がり、阿南市は「値上げ幅が大きくこれ以上負担させるにはいけない」とし、一般会計から繰り入れることを決めている。徳島市は65歳以上の生活に困っている低所得者を対象に1人あたり1,050円を減免し、一般会計から繰り入れを決定。今回の改定で藍住町は1期分41・8%増の4,933円と

### 見直しは厳しい

保険料を納めて頂くことにより、必要な給付を受ける制度として運用せざるを得ない。

なり、県下一高い保険料となる。利用料の減免については、第1段階は生活保護基準受給者段階でついているにもかかわらず、介護が受けられない状況も生まれている。低所得者救済の為にも減免を求める。





喜田 敏夫 議員

### 町の行財政改革の実行を急げ

町長の施政方針では、平成15年度中に新たな行財政改革大綱を策定するところだが、平成10年に策定した大綱に沿って鋭意努力してきたが効果が現れていないことも認められている。そうであれば「新たな大綱」を策定しても「絵に書いた餅」で終わってしまうのではないか。

### 不退転の決意で取り組みむ

行政改革は、職員の的確な現状認識と、改革に取り組み強い決意がなければ到底実施できない。まず、職員から取り組みをすること、行政改革を実行するものとして、直ちに

実施に移せるものと期待しての取り組みを進めている。

自立しうる地方行政運営を確立する為、抜本的な行政改革に取り組んでいく。

### 金持ちも低所得者も同じ1割負担は不公平

介護保険制度が平成12年に発足し15年度が見直しの年であり、藍住町では当初の予測を大幅に上回る利用があったため給付費が当初の26億9,000万円に対して31億7,400万円にもなってしまうため第1号被保険者の保険料を月額3,480円から4,933円にするとするが、介護保険制度は各市町村が事業主体であるならば、徳島

や阿南のように第2段階の方の減免措置を行政の責任で実施すべきではないか。また、2号被保険者の絶対数が激減する事態になればまたお年寄りの負担増になるのではないか。国の負担分25%のうち5%は調整交付金となっているが町は交付金を受けているのか。

### 事業費の半分は保険料

2号被保険者の保険料は保険の中の人数で計算したもので、1%と決まったものではない。2号被保険者が減れば、1号被保険者の保険料が上がるということ、減ったところに公的資金は入らない。

藍住町が調整交付金を受けられるかについては県へ確認したい。

藍住町の場合、介護認定を受ける方がサービスを受ける率は、他の町村に比べて非常に高く、保険給付費が増加傾向にあるので、今後介護予防に努めたい。

### 農業は国の基本、消費の拡大策は

町長の施政方針の中で国は平成22年までに「米政策改革大綱」を策定し、米政策の大転換を図るとあるが、町内の農家では農業では食っていけない

ため後継者がいない状況にある。平成22年までに言うのは拙速すぎるのではないかな今すぐ米の消費拡大を図るべきである。そのためには学校給食から地産、地消の実現をするべきである。



給食風景（藍住東小学校）

### 需給に見合った米作り促進

米の消費を拡大する意味でも学校給食において、米飯を増やしていきたい。いけるよう考えていきたい。

### 「町民委員会」設立の目的は

12月議会で町長の提案のあった有識者などによる「町民委員会」を設立し、町民の視点に立った諮問機関にしようが議会と競合するのではないか。

### 広く意見を聞く

広く各界、各層のご意見をお聞きする事は、今後の町政運営において必ずや役立つものと確信している。早い時期にこの委員会を立ち上げ、当面は行財政改革についてのご提言を賜るべく準備を進めている。





西谷 修 議員

## PF1方式に ついて

PF1とは、プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で、民間の資金や経営ノウハウを活用して道路や庁舎、宿舍、社会福祉施設、廃棄物処理施設、教育施設、リサイクル施設などの公共事業の施設を効率的に建設、運営する事を指すものである。(民間主導の公共事業)

建て替えの必要性に迫られているとした場合に、現在の町財政では税収増の展望も開けず、資金調達が難しい。こうした場合PF1を活用すると民間企業が建て替えに関する出資、建設、運営を請け負い、完成後はその建物についての賃借料をA町が民間企業に支払う方式で、「町役場」を使用する。こうすることで、A町は民間資金を活用する形で、町役場の建て替えが可能になるという仕組みである。

効率を最重視する民間に任せることで、従来の公共事業に比べて総事業費は2割から3割安くならるとの分析もあり、既に全国の自治体のなかでは、

かなりの導入例があると聞いている。

PF1法施行後3年余り経過しているが、本町においては、財政難の折り今後の計画や見通しについて伺う。

## 調査、研究していく

PF1方式が適当と  
思う事業については積極的に検討し、実施に移していきたい。

## ISO14001 認証取得について

地方自治体では、98年1月の千葉県白井市、都道府県庁としては同年3月の滋賀県庁を皮切りに、認証を受ける自治体が増え、わが徳島県では、平成12年2月22日に取得している。板野郡では松茂町も認証取得しており76団体の自治体・民間企業が認証取得している。自

治体におけるISO14001取得の意義については、自治体が認証を受けることで、環境配慮行動への取り組みがでる。住民や職員などの関係者への意識啓発及びPR効果を示せる。企業などへの普及啓発効果を狙うことなどが期待できる。

ISO14001は、

事業者の事務事業に伴う環境負荷軽減を図るのが目的で事業者のトップが環境負荷軽減を目指した環境方針を定め、その方針を実現するための計画(目標)―実行―点検―改善の環境管理システムを築き上げた事業者と与えられる。

県の環境負荷軽減に向

けた取り組みでは、2001年度の実績で用紙類使用量が3,545万枚(基準年となる1998年度比14.7%減)、庁舎の上水道使用量47,000m<sup>3</sup>(同9.7%減)、廃棄物の量が146t(同23.2%減)などとなっている。藍住町も町民に率先して指導出来るようISO14001を認証取得に取り組みべきではないか。

## 環境付加の低減に取り組み

ISO14001の認証取得については現在のところ考えていないが、町の事務事業に伴う環境付加の低減については、今後とも各方面で積極的に取り組んでいきたい。

ISO14001の目的、これに則った方針等を打ち出して、庁舎内外を問わず今後とも削減に努力していく。



超低排出ガスの公用車





西岡 恵子 議員

## 学 校

学校給食について主だった食材の購入費、その安全性への取り組みはいかがか。購入総額約1億7,300万円の市場での学校給食の地産地消への取組はいかがか。地場産の食材を使用することにより、地域農業の活性化にもつながると考える。一度にたくさん食材導入は難しいと考えるが保存のできる人参・米・じやがいも・玉ねぎ等の食材から検討をお願いしたい。安全性追及も出来ると考える。

多く、アレルギーの増加や、すぐキレル子供の出現は、食事の有り様が必要の一つと言われる。食育への取組についてお尋ねする。

心の教育について、地域とのふれあい・文化的行事への参加も大切と考えるかがか。

### 食育の推進に努める

食材の購入については、出来るだけ地場産の物を使用したい。

食器については、小・中学校全て新学期から使用出来るよう準備している。

食育については、給食時間に食に関する放送や調理実習等を実施している。

心の教育について

は、藍染め交流体験等文化的行事に参加し推進を図っている。

### 男女共同参画社会

男女共同参画社会実現に向け、県に於いては推進方策が検討され、平成15年3月末には答申がある。本町に於いての具体的取組について女性センター、企画調整課それぞれの立場からお答えを。又女性への相談窓口設置はいかがか。

### 積極的に進める

女性センターの事業については、働く女性のサポート交流会、女性問題の講座等を計画し、企画調整課としては、引き続き講座開催を実施したい。

### ねりんピック

第16回全国福祉まつり徳島大会について、選手への送迎の円滑化、競技場

が河川敷にあることを考え、台風シーズンを想定した競技場の代替地確保の件、食中毒等衛生面への配慮についてお尋ねする。

来町者に対する「おもてなし」で藍染め体験の対応、又近隣市町村との連携についてお尋ねする。

### 衛生管理万全を期す

グラウンドは排水設備をほどこしており、暴風雨警報発令あるい

## 環 境

は冠水しない限り実施出来る。

藍染め体験については、藍の館の開放を予定し、町外の名所や旧跡めぐりを検討したい。



水質浄化された正法寺川

循環型社会が叫ばれているなか、鳴門市・藍住町環境施設組合による焼却場等の建設が不透明な今、又最終処分場を持たない本町においてのゴミ減量化は最重要課題と考える。しかし人口増に伴い処理経費は増大している。ゴミの現状とその対策についてお尋ねする。

雑古紙の回収への取組、町民に対しての啓発として、講演会・研修会等考えられるかがか。

正法寺川の水質浄化の為に富吉橋近くに中間処理施設を設置したが効果はいかがか。河川の水質浄化の為に公共下水道推進のみが言われていたが最近では柔軟化され、その地域の実情にあった浄化対策も可能である。東

中富からの流入口への浄化施設設置の検討はいかがか。

### 再資源化している

雑古紙については、可能な限り再資源化をしている。

新富吉橋北側浄化設備の検討については県により検討、調査されている。

## 防 災

防災対策について、本町の危機管理体制は万全か。又地域での自主防災への推進はどのようにされているのか。

一斉清掃等町民が集まる機会に指導の試み又、最小限度のマニュアルの配布はいかがか。

### 自主防災組織を結成

自主防災対策に関しては、自主防災組織が一斉清掃の際、消火訓練等を実施している所もある。



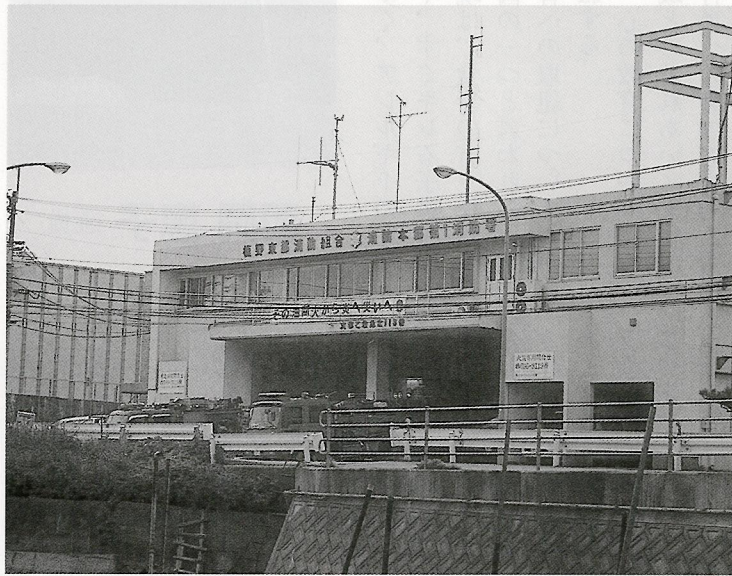


古川 義夫 議員

## 公共施設の震災対策について

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路の震災は、予知し得なかった事故であり、家屋の倒壊により多くの犠牲者を出したことは痛恨に耐えない次第である。震災から8年が経過し、震災地の悲惨な光景を、ややもすれば忘れがちになるのではないだろうか。関東大震災から80年を経過したというところで、日本列島はいつ、どこで大地震が発生するか予知し得ないのが現状である。

こうしたことから、地震についての対策は常日頃から怠りないようにし



板野東部消防組合消防本部

不特定多数の人が出入りする公共施設、避難場所となつている公共施設の地震に対する強度が不足し、いざというとき利用できなくなるようなことがあつては、住民を守る事は出来ない。

私は建築の専門家ではないが、明らかに地震に耐えられそうにないと思われる施設も見受けられるので、現在の耐震基準による町の施設の適合状

況はどのようなか。また、厳しい財政状況であることは承知しているが、耐震基準に適合していない施設について、補強工事、改修工事を早急に実施すべきであると考えながら、どのような計画で実施するのか。

## 学校施設から優先的に取り組む

町有施設の内、現在の耐震基準に沿った施設は全体の66%である。14年度は北小学校の耐震診断を実施しているところである。15年度以降については財政状況を見ながら、可能な限り効率的に耐震診断や耐震改修に取り組みたい。

## 災害弱者の救助体制について

災害弱者のデータを把握し、管理しておく問

題について何う。災害弱者とは、高齢で身体が病弱者及び障害者等で火災等の災害が発生した場合自力による避難が困難である者、その他防災上支援を要する者をいう。こういった災害弱者の安全を確保するためには、災害が発生し避難をしなければならぬ際に、手助けが必要な高齢者や身体障害者がどの家にいるのかというデータを把握して管理し、救助の体制を確立しておく必要があるのではないか。台風による豪雨で床下浸水した際に90才を超える夫は自分一人が二階に避難するのがやっとで寝たきりの妻が家の中で水死するという痛ましい事故があった。

豪雨ばかりでなく、地震、火災と災害はいろいろあり、発生予測し難いものもある。災害が発生した場合、避難が必要か、手助けが必要な方がどの家庭におられるのか、その場になってから

調べるのでは手遅れである。日常からそういったことを調査していなければならない。

手間をかけて調査をしても、活用されないかもしれないし、むしろ活用されないことが望ましいが、町長は災害弱者のデータを把握し、管理し、救助体制を整備しておくことについていかがお考えか。

## 緊急時の対策を考える

高齢者や心身障害者等災害弱者の方々に対しては、保健センターの保健師、民生委員、障害者生活支援センター等の職員により日頃から訪問し、データの把握に努めている。緊急通報時に消防署への通報連携についても消防署と協議し、更に検討していく。





木内 敏文 議員

## 入札制度の改革について

石川町長は、ご自身の公約で、入札制度の改革を掲げながら事実行われている業者の指名選定は、特定の業者を優遇し、町長選挙を色濃く残した全く不公平な業者指名入札が行われている。現在、国、県では一般競争入札、公募型入札、電子入札の導入が進んでいるが、町もこの際一般競争入札に近い、入札制度を取り入れてはどうか。

## 指名競争入札が最良と判断

それぞれの入札制度を活用する事については、競争性が高い反面、不良、不的確業者の混入する可能性もあり、現在のところそれぞれの入札制度を採用する事については、現時点では慎重に対応すべきと考える。

本町の工事発注については、業者の技術力、受注体制等を反映した指名競争入札が最良と判断している。

## 町発注工事の指名業者選定

石川町長が就任して以来の工事毎の、指名業者、落札業者の一覧表を見たが、この1年間で指名回数が多い業者で29回、落札合計金額1位のM社は指名回数20回、落札回数6回、落札合計金額約5,500万円、2位のD社が指名回数29回、落札回数6回、落札合計金額4,274万5,000円である。

町内業者で、永年工事実績があり、石川町長就任以来、一度の指名もない業者が5、6社あり、これらの業者は、指名がなく、入札に参加出来なくとも、事業税、町民税、固定資産税等、納税の義務を果たし、他社と同等の権利を有しているにもかかわらず、一度も入札にも参加出来ない。しかし一方では、繰り返し指名され、繰り返し落札し

ている現実を、町長はどう説明をするのか、指名権の乱用でないのか、官制談合でないのか。

下水道工事について、平成14年度において、補正予算も含めて、約5億円、15年度には、約7億円の当初予算が生まれ、一般財源から5,000万円の繰り出し、そして約4億円もの町債の発行

が予定されているが、財政状況が厳しい中、性急に事業を進めるべきでないのか。町発注の下水道工事で、実質的に工事を施工している業者は、元請、下請を含め、県外の業者ばかりだが、町内にはこの工事が出来る業者はいないのか。町内業者に工事をさせるべきでないか。今町内で



土木工事現場

## 公平公正に指名していく

再度指名審査委員会に検討を加え、なおかつ公平公正な指名が行われるよう指示していく。

は、影の町長として、石川町長の有力後援者M氏の名前が、至る所で聞かえて来る。町職員の人事から、町発注工事の一件一件の、業者指名選定から落札まで、深く関わっているとの噂である。石川町長就任以来、1年数ヶ月が過ぎたが、町長の独自政策とか、リーダーシップが見えて来ない。地方分権時代を迎え、地方が独自の政策を立案実行しなければならぬ時、そして町財政は、税収の落ち込み、地方交付税の減少等、財源不足から、基金の取り崩しなど益々厳しい状況が予想されるだけに、町政を任せられた町長の力量、政治姿勢が問われているのではないか。



## 総務常任委員会

3月19日、総務常任委員会を開催した。

平成15年度の予算編成に人件費等の具体的な改善について質問があった。それに対しては、効率的、効果的な運営をし、臨時職員の減員を図り、現業職員の定年制度の見直し等の条例改正により、財政の健全化を目指したい。また、今後は民間委託も視野に入れ、可能であれば実行していきたいとの答弁であった。

総合計画の見直し及び策定の時期については、平成16年度から見直しを進め、平成17年度中に策定したいとの答弁であった。委員からは、年次計画についてはきめ細かな見直し作業が大切であり、今後は計画の策定だけでなく常に成果を検証していくよう意見が出された。

# 委員会 審査結果

## 建設産業常任委員会

3月18日、建設産業常任委員会を開催した。

法改正により現在は合併浄化槽の設置が義務づけられている中で、下水道事業との整合性と今後の下水道事業の加入の協力依頼等についての質問に、平成21年度には公共下水道が供用開始する計画で進められており、供用開始となれば加入の協力を求め、理解を得られるよう努めるとの説明であった。

下水道の使用料についての質問に、条例を制定をして、徴収するようになるが、2市4町、各々において条例制定となる。金額等については今後検討するとの事であった。

また、土木工事の指名について、公正な指名が出来ているのかとの質問で、各指名審査委員に対してどのような考え方で指名審査をしているのかとの質問がされた。



## 文教常任委員会

3月14日、文教常任委員会を開催した。

小学校管理費の需用費の中の消耗印刷費の関連で、コピー使用量が月間5,000枚程度の場合、コピー機借上料は無料というのが民間の常識である。コピー機のリース料を払い、その上コピー代金を払うのはどうなのか、庁舎内と各学校と統一して無料でコピー機を置いてもらえばコストダウンが図れるのではないかという質問に対し、十分メーカーから聞いて対応していくということであった。

なお、町民プールの今後については、施設の老朽化で改修を済ませてからでないと開放できない状態で平成15年度は開放しない。改修については多額の費用がかかる見込みという説明であった。



現場視察をする建設産業常任委員

# 常任

## 厚生常任委員会

3月17日、厚生常任委員会を開催した。

福祉センター施設管理委託料について、管理を委託している社会福祉協議会には補助金を出し委託料も支出するのかとの質問があり、それに対し、施設全般を社会福祉協議会に管理委託し、光熱費等も含まれており十分な管理がされているとの説明であった。

また、藍寿苑の多目的公園用地や矢上の子供の遊び場の借上については、使用頻度が少なく、借上料を支出するのはどうかとの意見があり、不必要な用地であれば検討していきたいとの答弁であった。

介護予防生活支援事業費の内、配食サービス事業委託料については、徳島メデイカルサービスと蘭方では利用者負担に差がある。徳島メデイカルサービスへ蘭方の価格に近づけるよう望むとの意見があった。



## 厚生常任委員会報告

2月18日、厚生常任委員会においてゴミのポイ捨て防止、犬のふん害等防止のための条例等の制定について協議を行った。

ポイ捨て防止の対象を空き缶、吸い殻、チューインガムのかみかす、包装紙、紙くず類、生ゴミ、粗大ゴミ、飼い犬の糞、回収容器の設置義務、落書き防止とし、罰則規定を設け、金額等については今後、先例地を参考にしながら設定していく事とした。

また条例制定については今後、更に検討を加え、議員提案とする事とした。



喜田 修

2月27日、徳島県町村議会議長会第54回定期総会において、自治功労者表彰式が行われ、喜田修議員が、町村議会議員として25年以上在職者として、徳島県町村議会議長会から表彰されました。

## 自治功労者表彰

## 環境衛生・まちづくり 合同特別委員会

## 報告

3月20日、環境衛生・まちづくり合同特別委員会を開催した。

正法寺川の浄化について、汚水が流れ込んできているので改善をとの問いに、県の方でEM菌を上流側に投入し対策してもらっているとの事であった。

正法寺川の施設の浄化能力がかなり高く、浄化施設について県は2～3年経緯を見るということ、維持管理費については町が維持管理をしていくとの説明があった。

また、勝瑞城館跡発掘調査についてはあと何年ぐらいかかるのかとの質問には、全体を把握するための発掘調査にはまだ相当の期間が必要であるとの答弁であった。





## 陳情

3件の陳情があり、議場で資料が配付された。

▼政府に「不戦の意見書」の提出を求める陳情書

陳情者 ネットワーク『地球村』・なると『地球村』  
代表 芝 佳子

▼イラク問題の平和的解決をもとめる意見書に関する陳情書

陳情者 徳島県平和委員会  
代表理事 神野 美昭

▼藍住町の介護保険料値上げ反対について

陳情者 藍翠健康クラブ  
代表 福島 正美 中野 貞夫  
山下 茂信 佐々木三重子

## 町民の声

## 赤字町財政からの脱却を望む

乙瀬 井上 常男

町の経費削減対策について私見を述べさせて頂きます。  
制の廃止等を要望されま

いたが、町側は、「人口増加、町政課題の山積」などを理由に、助役2人制を廃止には、難色を示し、現在も、2人制を続けています。

県内50市町村中、助役2人制は、徳島、鳴門、阿南の3市と藍住町だけです。3市の人口は、本の2-18倍です。  
県内町村で助役2人制は、本町以外どこもありませんし、助役、収入役を置いていないのが8町村あります。  
県外でも、三重県大王町では、経費削減を公約し、初当選した女性町長は、やる気があれば何で

鳴門市・藍住町  
環境施設組合・解散について思う

春日 平野 誠 一

もできると、年間約3千万円を要していた助役、収入役制を廃止し、その経費を福祉などの面に充てているといわれています。

一月十七日の町議会で解散について、反対・賛成の意見が報道されました。  
地元住民は心よく永く容認してくれないと私は予想いたします。

このような事例があるのですから、本町が、人口増や、町政課題の山積を理由に助役2人制が必要だと言うのは、説得力に欠ける。他の市町村にできることが、本町でできないというのは理解しにくいことです。

鳴門市側が同議案を可決して、水をさされているのに藍住町側がこれを否決しても「覆水は盆に還らない」と思います。首長選挙に期待をつないで、藍住町が今日まで費した歳月と貴い労力と予算が還ってくるのは望み遙かな波の上だと思えます。

ただ、助役2人制の廃止問題だけに限らず、町政全般においても他の市町村の政策に倣い、経費削減に積極的に取り組み、借金財政からの脱却に努めて頂きたいものです。

若し万一首長が変わり、組合が存続して、遠く瀬戸の山中まで運んで処理できるようにしても、

## 投稿規定

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

一、住所・氏名・電話番号を明記

三、字数は五〇〇字以内

議会や町政に関するご意見を寄せ下さい。

二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。

四、掲載者を調整する場合があります。



# 議会のういち

## 2月

- 4日 県議長会理事會・郡地区事務局長会合同會議
- 6日 議會だより編集委員會
- 12日 板野郡町議會事務局職員研修會
- 14日 板野郡議長會第1回定例会
- 18日 厚生常任委員會
- 21日 教育施設整備公社理事會
- 25日 町村自治確立総決起大会(東京)
- 26日 藍住町農業振興地域整備促進協議會
- 27日 第3回勝瑞城館跡まつり協議會
- 27日 第54回県議長會定期總會
- 28日 自治功勞者表彰式
- 28日 第2回臨時議會
- 28日 議會全員協議會
- 28日 議會運営委員會
- 7日 3月議會開會
- 12日 3月議會一般質問
- 14日 文教常任委員會
- 17日 中学校卒業式
- 17日 厚生常任委員會

## 3月

- 18日 建設産業常任委員會
- 18日 小学校卒業式
- 19日 総務常任委員會
- 20日 環境衛生・まちづくり合同特別委員會
- 24日 議會全員協議會
- 24日 教職員離任式
- 24日 鳴門市・藍住町環境施設組合議員協議會
- 25日 3月議會閉會
- 25日 議會運営委員會
- 26日 板野郡消防組合議會定例会
- 26日 板野西部青少年輔導センター組合議會定例会
- 27日 鳴門市・藍住町環境施設組合定例会
- 27日 德島引田線バイパス開通式典
- 28日 板野郡農業共済事務組合議會定例会
- 1日 教職員着任式
- 9日 小学校・中学校入學式
- 10日 ふれあいグリーンキャンペーン苗木寄贈式
- 15日 山形県河北町長來庁
- 22日 旧吉野川下流域下水道建設事業安全祈願祭
- 23日 県議長會事務等説明會
- 25日 第27回納涼祭大会役員4役會

## 4月

28日 第16回全国健康福祉祭「ねんりんピック2003」徳島大会藍住町実行委員會第2回總會

29日 徳島県植樹祭

**● 本會議を傍聴しませんか ●**

本會議はどなたでも傍聴することができます。傍聴に議事を受ける場合は、本會議事務局の受付までお越し下さい。なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承ください。



徳島引田線バイパス開通式典

## ● 定例会案内 ●

次の定例会は6月です。

次号は8月に発行します。

お問い合わせ  
議会事務局 ☎637・3127

## 編集後記

久し振りに、人参栽培農家に活気が戻ってきた。ここ数年、低迷していた市場価格が、今年はますますの価格で取り引きされている。町内の栽培面積は約五〇〇ヘクタールと推測され、出荷量は優に、二万トンを超えるものと見込まれている。経済不況で町税収入が落ち込んでいる時だけに、農家所得の向上が少しでも町財政を潤せればと思います。しかし、農家にとっては、一年中休む暇がなく人参出荷が終われば、すぐに田植えが待っている。

## 議会だより

### 編集委員会

- 委員長 喜田敏夫
- 副委員長 西岡恵子
- 委員 永浜茂樹
- 委員 西谷 修
- 委員 古川義夫